AURORA PHILHARMONIC

アウローラ・フィルハーモニック管弦楽団 演奏会

2019 6/9 Sun 開場 13:30 開演 14:00

会場 アクトシティ浜松 中ホール　入場料 前売・当日共 950円[全席自由／税込]

チケット取り扱い

アクトシティ インフォメーションセンター(販売窓口 10:00-19:00)

ヤマハミュージック 浜松店(営業時間 10:30-19:00)

HCFオンラインショップ www.hcf.or.jp/shop/

MAHLER SYMPHONY NO.2

グスタフ・マーラー 交響曲第2番 ハ短調「復活」

指揮 永峰 大輔　ソプラノ 田上 知穂　メゾソプラノ 長谷川 忍

お問い合わせ

アウローラ・フィルハーモニック管弦楽団 事務局

TEL　090-2032-9211(平日18:00-20:00 土日祝9:00-20:00)

E-mail　aurora.phil.hm@gmail.com

Web　auroraphil.web.fc2.com/

facebook www.fb.com/AuroraPhilharmonic/

後援　浜松市、公益財団法人浜松市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送、
中日新聞東海本社、K-mix、FM Haro!

AURORA PHILHARMONIC

アウローラ・フィルハーモニック管弦楽団

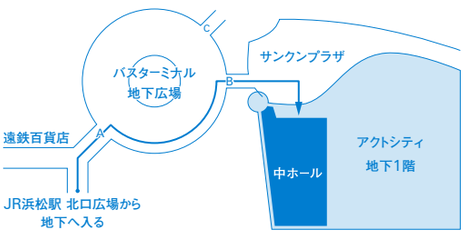
単独では実演が困難な大曲に挑戦するべく、浜松近辺の楽団に所属するメンバーを中心に、音楽に対して熱い想いを持つ演奏家たちで結成されたオーケストラ。2018年6月から活動開始。一人ひとりが個性を発揮しつつも、所属楽団の垣根を超えて一つの音楽を作り上げることを目指し、より良い音楽表現を突き詰める姿勢を大事にしている。

Aurora(アウローラ)は「暁・夜明け」といった意味を持つ単語であり、物語の幕開けとなるような・待ち望んでいたことが実現できるオーケストラ、という期待が込められている。演奏活動を通じて、音楽本来の楽しさと「音楽のまち 浜松」を内外に発信することにより、地域の文化振興に貢献することを目的としている。

今回の演奏会のため、志を共有するメンバーによる特別合唱団を組織。オーケストラと共に、マーラーの大作に挑む。

会場までのアクセス

アクトシティ浜松 中ホール　静岡県浜松市中区板屋町111-1



指揮 永峰 大輔

1977年千葉県生まれ。洗足学園音楽大学附属指揮研究所を経て、ヴァイマル・フランツ・リスト音楽大学、メクレンブルク・フォアポマーン州立歌劇場にて研鑽を積む。2008年にはエレアザール・デ・カルヴァーリョ音楽祭に客演指揮者として招聘され、日伯移民100周年を記念する演奏会を指揮し絶賛を受けた。

これまでに、大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、群馬交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、山形交響楽団などへ客演。2012年から2015年までは、神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者として、主催公演を含む年間20公演以上を指揮。2015年/16年シーズンには、NHK交響楽団にて首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィのアシスタントを務めるなど、着実に実績を積んでいる。

2011年にウクライナ、チェルニーヒフフィルハーモニー主催の指揮マスタークラスにて、最優秀指揮者賞である「ニコライ・バセーリビッチ賞」を受賞。2014年にはアメリカ、アトランタで開催された第5回ICW国際指揮コンクールにて最優秀指揮者に選出された。

MAHLER SYMPHONY NO.2

グスタフ・マーラー 交響曲第2番 ハ短調「復活」

「復活」は大規模な管弦楽と声楽(ソプラノ独唱、アルト独唱、混声合唱)を伴う作品であり、伝統的な4楽章構成ではなく、拡大された5楽章制を採用している。演奏時間は80分程度。終楽章は約30分と全曲中で最も長く、管弦楽の編成も拡大され、音響の点からも立体的に構想されていることが特徴。合唱が"Aufersteh'n(復活する)"と無伴奏で神秘的に歌い出した後、パイプオルガンを加えた大管弦楽と一緒に、復活の喜びを高らかに歌い上げ、クライマックスを迎える。

1888年に交響曲 第1番(巨人)の初稿を完成させたマーラーは、交響曲 第2番 第1楽章の前身となる「葬礼」と名付けた交響詩をひと夏の間に書き上げる。この交響詩の中で葬られているのは、交響曲 第1番の中での「英雄」であるとマーラー自身が述べており、前作との繋がりを強く意識させる導入となっている。1893年、「葬礼」を一部改定し第1楽章に据える形で交響曲第2番に着手し、4楽章までを概ね完成させたものの、壮大な葬送行進曲である第1楽章に"解決"を与える終楽章をどうすべきか、マーラーは頭を悩ませていた。翌年、名指揮者ハンス・フォン・ビューローの葬儀に立ち会った際、教会に響き渡ったクロプシュトック作詞のコラール「復活」に衝撃を受け、最終楽章において混声合唱に「復活」の詩を基にしたテキストを歌わせることとし、同年中に全楽章を完成させた。自身の指揮によるベルリン・フィルハーモニー管弦楽団との全曲初演では大成功を収めた。

ソプラノ 田上 知穂

静岡県浜松市生まれ。国立音楽大学声楽科卒業、桐朋学園大学研究科修了、二期会オペラ研修所第45期マスタークラス修了、修了時に優秀賞受賞。G.ニコリーニ国立音楽院修士課程を最高点で修了し帰国。第17回奏楽堂日本歌曲コンクール入選、G.ポッジ国際コンクール1位受賞。オペラでは二期会公演「メリー・ウィドー」「ジュリアス・シーザー」、近年では宮川彬良作曲「ブラックジャック」など、数多くの舞台やコンサートに出演。

メゾソプラノ 長谷川 忍

東京藝術大学大学院修士課程修了。二期会オペラ研修所修了。2002年から2004年まで、イタリアのミラノ音楽院において研鑽を積む。帰国後、東京二期会・ハンブルグ州立歌劇場共同制作、奇才ペーター・コンヴィチュニー演出のモーツァルト「皇帝ティトの慈悲」にアンニオ役で抜擢され、二期会オペラデビュー。日生劇場 アルミンク指揮のヤナーチェク「マクロプロス家の事」でクリスタ役を好演。D・R・デイヴィス指揮、宮本亜門演出のモーツァルト「フィガロの結婚」など、多くのオペラに出演。2016年にはミラノ、パリ、ウィーンの3カ国でコンサートツアーを行った。